

保健学専攻は、健康で文化的な生活の維持向上を基盤とした人材育成・研究を行っています。すなわち、①疾病予防、②日常生活支援、③治療・療養の場における生活支援です。これらの目的達成のため、看護学専攻では、疾病予防や治療・療養の場における生活支援などを研究・実践しています。理学療法専攻では、運動機能維持改善のみならず、スポーツ医学におけるトレーニングを安全かつ効率的に行う科学を研修・実践しています。作業療法専攻では、高次脳機能研究による、機能評価・機能回復プログラムを実践しています。すなわち、脳機能と運動機能は相関する機能であるため、認知機能低下に対する運動療法による認知機能低下予防や治療を実践しています。さらに、様々な障害をもつ方々が安全な環境で生活できるように環境整備や福祉用具、自助具の研究開発を行っています。秋田県は急速な人口減少

学部の研究の特徴や  
目指している方向性

Message

# 医学部 保健学科

保健学専攻長  
安藤 秀明 教授

と高齢社会により、これまでの医療・福祉・介護体系では、従来通りの健康で文化的な生活は危惧的な状況です。秋田県は、人口減少・高齢社会構造とともに全国一、すなわち世界一進んでいる地域です。大きな問題ではありますが、この問題はこれから数十年後、日本全体および世界中の先進国が直面している課題であります。それゆえ、秋田におけるコミュニティ再構築や生活支援は世界のトップランナーとして注目されています。看護学専攻では、不足する医療者の質を向上させることにより、現状維持改善を進めています。

高い専門性と看護実践能力を持つ、高度実践看護師育成を行い、秋田県の死亡原因のトップで、全国的にも死亡率の高い「がん」に対して、がん看護専門看護師育成を10年前から行っています。さらに、患者さんの一番身近にいる看護師が、病態に即座に対応できる知識と技術を兼ね備えた、Nurse Practitioner 育成も行います。理学療法専攻では、健康寿命延伸のため、「貯筋」という概念から、より効率的な運動を超音波機器などを用いて、客観的に筋肉の動きや厚さを測定し、科学的トレーニング

グを提案しています。作業療法専攻では、現在大きな問題となっている認知症に対する脳機能評価や運動療法による予防・回復などを研究しています。また、これらの研究は、国内にとどまらず、シンガポール、タイ王国、イギリスなどと連携して世界に向けて共同研究・発信しています。これは、研究者のみならず、保健学科在籍中に、シンガポール、タイ王国(スラナリ、チェンマイ)、オーストラリアなどに年間約25名短期留学をして国際的見地から教育・研究を進めています。



シンガポール留学研修



地域心身機能調査



少年野球スポーツ指導

1 健康寿命延伸のために  
日本人の平均余命は伸びていますが、人生の最後に期間において、男性で約9年、女性で約12年間、介護を要しています。このため、介護を必要としない期間、すなわち健康寿命を延ばすという取り組みを行っています。身体能力の維持のためには、筋力を維持する(貯筋)ために、「いいあんべえ体操」を秋田市と連携して作成普及活動を行っています。現在では、OJも用いながら全県に普及し、その効果を世界的に研究・発表しています。

Q 高齢社会における保健学科の取り組みはどのようなものがありますか？  
A 人口減少・高齢社会での秋田で、いかに幸せに暮らすことができるか。保健学科は、生活者支援、コミュニティ文化の醸成のため、以下の研究を行っています。

3 増加する認知症予防と認知症になっても安心して暮らせるまちづくり  
現在、認知症予防・治療に対して、多額の予算が投資されていますが、科学的データでその有効性が証明されていないのは運動・作業療法のみです。作業療法・看護学専攻では、秋田県内で運動療法

2 少子化対策として、安心して子どもを産み育てるために  
秋田では、若年者が県外に流出していますが、里帰り分娩から秋田で育児定住する方が増えてきています。この方々に安心・安楽に分娩・子育てができるように、お母さんたちの健康維持・ストレス解消の研究を行っています。さらに、プレママ・カフェを定期開催し、お産の不安や子育てのアドバイスを行っています。

4 病気になっても、安心して生活しながら治療・療養をする  
秋田では「がん」で亡くなるひとが多く、その治療のために生活が制限されるなど、これまでできていたことが上手くできなくなるものが少なくありません。保健学科ではこれらの方々の生活を支え、暮らしやすいコミュニティを提言しています。特に、看護学専攻では、治療・療養している方々に、専門的知識や技術を有する高度実践看護師を育成することにより生活を支援しています。

70周年記念シンポジウムに参加した高校生からの質問に対する回答  
その啓発活動を行うと同時にその効果を世界に発信しています。さらに、認知症になっても、地域で安心して暮らすためにはどのようなコミュニティを構築していけば良いのかと、秋田県内の地域に赴き、研究し、方策を提言しています。



理学療法講座



理学療法講座